

発見!

牛久のお宝

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300



第10回 蜂印のワイン



蜂印香竄葡萄酒

旧洗滌場で発見された未開封のワイン

牛久シャトーの創設者・神谷傳兵衛は、輸入ワインにハチミツや漢方薬を加えて、日本人の口に合う甘味ぶどう酒を作り、明治19年に「蜂印香竄葡萄酒」の名称で発売しました。「蜂印香竄葡萄酒」は、当時では珍しいポスター広告を使用した販売戦略により、明治30年ごろには全国で人気商品となりました。

平成23年からシャトーカミヤ旧醸造場施設の災害復旧工事が行われ、その際に旧洗滌場(現ワインセラー)で未開封のワインが発見されました。ラベルの「BEE BRAND KOZAN WINE」は、大正11年の全国募集で決定した「蜂印香竄葡萄酒」の名称で、さらに昭和2年に「蜂ブドー酒」と変更されたので、その間に作られたワインと思われる。また、ラベルが英語表記のみであることから、海外用、あるいは博覧会や品評会出展用に瓶詰めされたワインの可能性もあります。

◆今回紹介した未開封のワインは、中央生涯学習センター展示ホールで展示中

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524



①スギの幹に這い登るツタ:結束町
平成24年12月14日撮影

第34回

ツタ(ナツツタ)

ブドウ科ツタ属の落葉性のつる性木本。北海道〜九州に分布。市内では、スギ林や林縁等で木の幹について生育し、建物の壁際等にも植栽されています。巻きひげの先の吸盤で木や壁に付着して這い登ります。茎は節目

文芸さろん | 神無月 |

虫時雨空家の表札そのままに
湯の宿の端より暮れる素秋かな
南瓜切る厨になれし夫のいる
ほおずきで遊んだ日々もセピア色
背の丸き妣とふたりの秋茄子
来し方を雲に乗せたき秋の風
親しみの瘦せた秋刀魚や那珂湊
ニラの花雨にも強し日をあびて

秋を思わせ心なごむし

枝さん

秋穂

高階さん

渡辺さん

そら

サッコ

進の介

淑子



◀渡辺さん

<次回募集テーマは「初冬」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係 FAX: 873-2512

☐ kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号

匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



②ツタの吸盤:シャトー通りの壁面
平成24年9月29日撮影

②渡辺泰) ※牛久の里山樹木ハンドブック 83ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章:本田寛、写真:①戸塚昌宏)

で曲がり、葉と巻きひげは対生。葉柄は長く、葉は厚く、光沢がある広卵形で、先は浅く3裂し、長さ幅とも5〜15cmです。花は短い枝先に集散花序につき、黄緑色の小さな5弁花を6〜7月頃に咲かせます。果実は球形、径5〜7mm、10月藍黒色に熟し、白粉がつきます。名前は伝いという性質に由来し、別名は常緑のフユツタに対する呼称です。秋の鮮やかな美しい紅葉は見事です。

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)